

## 更新研修「サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習」プログラム案

標準カリキュラム			都プログラム案			
科目	内容・目的	時間数	目的	内容	ツール	時間数
サービス管理責任者としてのスーパービジョン（講義）	・サービス管理責任者として、事例検討のスーパービジョン及びサービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。	180分	・サービス管理責任者として、事例検討のスーパービジョン及びサービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。 →スーパービジョン(SV)の基本的理解	※以下、国標準カリキュラムに準じた内容 ※R3 国研修資料を基に作成 ①研修のねらい ②スーパービジョンとは ③ミニ演習(簡単な傾聴技術) ④事例検討のスーパービジョン(PCAGIP法について、演習に向けた留意点等) ⑤サービス(支援)提供職員等へのスーパービジョン(福祉実践におけるスーパービジョンの意義と活用、演習モデルの提示)		180分
事例検討のスーパービジョン（演習）	・事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークによって明確化することによってスキルアップを図る。また事例について、スーパーバイズを体験する。	60分	・事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークによって明確化することによってスキルアップを図る。また事例について、スーパーバイズを体験する。 →事例を通じた支援内容の検討、事例提供によるSV体験	演習：グループスーパービジョン ①出席者自己紹介(5分) ②事例(事前課題)紹介→スーパービジョンを行う事例を選定(5分) ③人物像や環境を共有する質問(15分) ④人物や環境などのストレスに関する質問(10分) ⑤今後の方向性の確認(15分) ⑥スーパーバイズ(5分) ⑦参加者の感想(5分)	GSV 報告様式 (事前課題) ※個人情報の取り扱い は課題	60分
サービス提供職員等へのスーパービジョン（演習）	・事例を通じてサービス管理責任者等としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。	120分	・事例を通じてサービス管理責任者等としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。 →事例を通じて職員のSVを理解。技術の獲得	演習：事例から学ぶスーパービジョンの実際 〈事例〉 Aさん：利用者視点の支援を考え、Cさんの夜間のオムツ不使用をケア会議で提案・決定 Dさん：夜勤者。ケア会議欠席。Cさんがよく眠れるようにとオムツ使用 Bさん：サビ管。Aさんから相談を受け、Dさんに聞き取りする。 第1セッション(60分) Aさんへのスーパービジョン 第2セッション(60分) Dさんへのスーパービジョン ①個別作業(15分) ②グループワーク(20分) ③ロールプレイの実施(15分) ④実施した内容の評価(10分)		120分
研修のまとめ（演習）	・研修で得られた知識・技術を活用して、サービス管理責任者としてのスキルアップを図る方策について、グループワークにおける討議を通じてまとめを行う。	60分	・研修で得られた知識・技術を活用して、サービス管理責任者としてのスキルアップを図る方策について、グループワークにおける討議を通じてまとめを行う。 →個人・グループワークによる全体のまとめ	①全体振り返り(個人ワーク) ②自事業所でどのように活かすか(個人ワーク) ③グループで共有しましょう(グループワーク) ④情報共有後の感想(個人ワーク) ⑤全体発表で共有しましょう(時間があれば) ⑥最後に・・・「振り返り」の重要性。 ・自らの言葉として語る ・仲間意識を持つ ・明日からの活力につなげる		60分
合計		7時間	合計			7時間